

公益財団法人 日本バレーボール協会  
第14期・2023年度事業計画  
(2023年4月1日～2024年3月31日)

公益財団法人日本バレーボール協会（以下 JVA）は、バレーボールの「つなぐ力」でファミリー一丸となって取り組み、将来的なスポーツ界を取り巻く環境の変化にも耐えられる組織基盤の強化と競技の普及・育成・強化を推し進め、バレーボールの価値を高めることでバレーボールファミリーの拡大に努めます。

JVA は今後の目指すべき方向として、「JAPAN バレーボール宣言」とクレド（行動規範）「JAPAN バレーボール WAY」を制定しました。バレーボールに携わるすべての人と同じ価値観を持って 2023 年度開催の「FIVB パリ五輪予選/ワールドカップバレー2023」などの国際大会に向けて、選手を育成強化し、国内競技会や各種事業を積極的に推進しながら事業方針と重点実施項目について全力で取り組みます。

■事業方針【2023年4月～2024年3月】

- (1) 『JAPAN バレーボール宣言』の理念のもと、コロナ禍においても身近に「する・観る・支える」環境をつくり、バレーボールの発展を目指す。
- (2) 加盟団体の法人化を含め『組織基盤強化』を確立するための計画を策定する。

■重点実施項目【2023年4月～2024年3月】

- (1) 2024年パリオリンピック出場に向けて、男女インドア・ビーチ共に強化を継続する。特にインドアは、2023年に日本で開催するFIVBオリンピック予選を勝ち抜き、男女共にオリンピック出場権を全力で獲得する。
- (2) 都道府県バレーボール協会との連携を強化し、問題・課題を共有した上で法人化に向けた財政基盤施策を構築する。
- (3) ブランディングの再構築を実施し、バレーボールの価値向上を図る。
- (4) 事務局役職員の計画的、定期的な人事異動、ローテーションを実施し、縦割り意識の改善と、加盟団体を含むバレーボール界の生産性向上を図る。
- (5) 指導現場における暴力等根絶の実現に向け、体制強化と各種施策を推進する。
- (6) JVAメンバー制度（登録）の見直しを行い、未登録者層（生涯スポーツ・愛好者含む）の登録促進と登録者へのサービス向上を図り、JVAメンバー制度の質を向上させ、バレーボールファミリーの「つながり」を確立する。
- (7) 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、事業に関わる方々の安全・安心を確保した上で、日本代表戦や全国大会をはじめとする、JVA主催大会及び主管大会を開催し、バレーボール活動の維持に努める。

★略称解説★

AVC	アジアバレーボール連盟 (Asian Volleyball Confederation)
BVT	ジャパンビーチバレーボールツアー
FISU	国際大学スポーツ連盟 (International University Sports Federation)
FIVB	国際バレーボール連盟 (Fédération International de Volleyball)
JOC	公益財団法人日本オリンピック委員会 (Japanese Olympic Committee)
JSC	独立行政法人日本スポーツ振興センター (Japan Sport Council)
JSP0	公益財団法人日本スポーツ協会 (Japan Sport Association)
NF	各国のバレーボール協会 (National Federation)
NTC	味の素ナショナルトレーニングセンター (National Training Center)
VNL	バレーボールネーションズリーグ (Volleyball Nations League)
Vリーグ機構	一般社団法人日本バレーボールリーグ機構

<事業活動>

1. 競技力向上事業及び競技力向上に係る日本代表選手団国際大会派遣事業

(1) 各カテゴリー日本代表チームの選手育成・強化事業

【バレーボール】

1) 男子・女子日本代表チーム強化目標

男子、ブラン・フィリップ監督、女子、眞鍋政義監督体制も2年目となり、2023年度最大の目標、パリオリンピック出場権の獲得に向けて強化を推進する。

2022年度、男子はVNLで初のファイナルラウンドに進出し5位となり、世界選手権では予選を突破。決勝トーナメント初戦でオリンピックチャンピオンのフランスにフルセットで競り合うなど着実に力を付けている。女子も、VNLは昨年続きファイナルラウンドに進出し7位、世界選手権ではオリンピック銀メダルのブラジルに予選リーグでは勝利、準々決勝はフルセットで惜敗したものの5位と飛躍を遂げた。

2023年のVNLは5月末から7月下旬まで行われ、男女共に世界ランク上位チームへの勝利を目指す。そして2023年度のメイン大会となる「FIVBパリ五輪予選／ワールドカップバレー2023」（日本開催）にて出場権獲得達成への足掛かりとする。

また、第22回アジア選手権（男子：イラン 女子：タイ）、第19回アジア競技大会（中国）は、男女共オリンピック予選とスケジュールが重なるため、次代を担う有望な若手も起用しながらフル代表に準ずる構成とし、上位進出を目指す。

■男子：国内合宿・NTC を中心に強化合宿を実施

VNL・OQT 等大会前に海外チームと親善試合(富山)並びにフレンドリーマッチ(VNL 名古屋大会非対戦チーム)、トルコ遠征(VNL FNL 予選敗退の場合)を予定。アジア競技大会を戦う日本代表 B チームについては、5、6、9 月に国内合宿、7、8 月に海外遠征(調整中)を予定。

■女子：国内合宿・NTC を中心に強化合宿を実施

V リーグが終了し、4 月上旬より VNL へ向けて代表活動を始動する。VNL 第 1 週の日本開催前に海外チームと強化試合を予定。今後、世界ランキングが重要視されることから VNL ではそれを鑑みた戦いをしていく。また、2023 年度の最大目標である FIVB パリ五輪予選/ワールドカップバレー2023 でのオリンピック出場権を獲得へ向け、チーム強化を図っていく。そして、第 22 回女子アジア選手権大会やアジア競技大会では日本代表チームではなく、若手育成を視野に入れたメンバー構成で戦う予定。

(注) 日本代表チームとはトップレベル選手で構成された日本の代表チーム

2) 男子・女子ユニバーシアード日本代表チーム強化合宿

コロナ禍により国際経験不足となっているが、これを挽回すべく関係各所と連携し安心安全を担保しながら国内合宿を確実に実施し強化を推進する。

7 月末から中国・成都で開催される FISU ワールドユニバーシティゲームズで、男子はメダル獲得、女子は同大会での 4 大会連続のメダル獲得を目標に、選手強化を行う。

■男子：国内合宿・NTC 及び他で実施

事業名(期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
男子ユニバ日本代表合宿(NTC)(6/2-6/11)	NTC	9 泊	10 日	6 名	12 名
男子ユニバ日本代表合宿(企業)(7/14-7/25)	企業	11 泊	12 日	6 名	12 名
ワールドユニバーシティゲームズ(成都)(7/25-8/8)	成都	14 泊	15 日	6 名	12 名
男子ユニバ東西合宿(NTC)(11/2-11/6)	NTC	4 泊	5 日	8 名	28 名
男子ユニバ日本代表合宿(NTC)(1/5-1/14) ※CORE	NTC	9 泊	10 日	6 名	14 名
男子ユニバ日本代表合宿(NTC)(2/2-2/11)	NTC	8 泊	9 日	6 名	28 名
男子ユニバ日本代表合宿(FRA)(2/12-2/26) ※CORE	FRA	14 泊	15 日	5 名	12 名

■女子：国内合宿・NTC 及び他で実施

事業名(期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
女子ユニバ日本代表合宿(5/23-5/28)	未定	5 泊	6 日	7 名	12 名
女子ユニバ日本代表選考合宿(6 月下旬)	長野	5 泊	6 日	7 名	12 名

女子ユニバ日本代表選考合宿（7月上旬）	滋賀	未定	未定	未定	未定
FIUS ワールドユニバーシティゲームズ（7/25-8/8）	成都	14泊	15日	7名	12名
女子ユニバ日本代表合宿（12月下旬予定）	NTC	4泊	5日	8名	24名
女子ユニバ日本代表合宿（2月下旬予定）	NTC	5泊	6日	8名	24名

（注）ユニバーシアードチームとは、主に大学生を中心に構成される日本の代表チーム

### 3) 男子・女子 U21 日本代表チーム強化合宿

コロナ禍により国際経験不足となっているが、これを挽回すべく関係各所と連携し安心安全を担保しながら国内合宿を確実に実施し強化を推進する。

■男子： 男子 U20 日本代表は 2022 年アジア選手権において 13 位となったため 2023 年の男子 U21 世界選手権は不参加。しかし優秀な選手が多く強化の継続が必要不可欠の為、強化合宿ならび海外遠征、更には男子日本代表 B チームに選出可能な選手は招聘し強化を推進する。

■女子： 女子 U20 日本代表は 2022 年アジア選手権で優勝し、世界選手権の出場権を獲得した。世界選手権は U21 日本代表で出場し、前回出場したメキシコ大会同様に金メダルを目指す。

#### ■男子：国内合宿・NTC 及び他で実施

事業名（期間）	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
男子 U21 日本代表合宿（JTEKT）（4/29-5/4）	JTEKT	5泊	6日	6名	18名
男子 U21 日本代表合宿・海外遠征（8/10-31）	(TBD)	20泊	21日	8名	14名
男子 U20 日本代表合宿（NTC）（1/15-1/21）	NTC	6泊	7日	6名	18名

#### ■女子：国内合宿・NTC 及び他で実施

事業名（期間）	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
女子 U21 日本代表合宿（5月）	未定	5泊	6日	7名	18名
女子 U21 日本代表合宿（6月）	未定	5泊	6日	7名	18名
女子 U20 日本代表合宿（11月）	NTC	5泊	6日	5名	24名
女子 U20 日本代表合宿（2月）	NTC	5泊	6日	5名	24名

（注）男子・女子 U21 日本代表チームとは、2003 年 1 月 1 日以降に出生した選手で構成される日本の代表チーム

4) 男子・女子 U19 日本代表チーム強化合宿

コロナ禍により国際経験不足となっているが、これを挽回すべく関係各所と連携し安心安全を担保しながら国内合宿を確実に実施し強化を推進する。

男女 U18 日本代表は、2019 年以来の国際大会にも関わらず、劣勢の中から 2022 年アジア選手権で優勝し世界選手権出場権を獲得した。2023 年 U19 世界選手権では優勝を目指し強化を行う。

■男子： 男子 U18 日本代表は 2022 年アジア選手権 3 連覇を達成し、2023 年世界選手権では表彰台を目指し、強化合宿を実施する。

■女子： 女子 U18 日本代表は 2022 年アジア選手権 8 連覇を達成し、世界選手権の出場権を獲得した。2023 年世界選手権はメダル獲得を目指す。

■男子：国内合宿・NTC 及び他で実施

事業名（期間）	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
男子 U19 日本代表合宿 (NTC) (7/2-7/6)	NTC	4 泊	5 日	7 名	18 名
男子 U19 日本代表合宿 (TBD) ※世界選手権事前合宿 日程未定	海外	7 泊	8 日	7 名	12 名
男子 U18 日本代表合宿 (NTC) (12/3-12-7)	NTC	4 泊	5 日	7 名	24 名
男子 U18 日本代表合宿 (大阪) (2/13-2/16)	大阪	3 泊	4 日	7 名	24 名
男子 U18 日本代表合宿 (大阪) (3/25-3/29)	大阪	4 泊	5 日	7 名	18 名
男子 U18 日本代表合宿 (TBD) ※日中韓ジュニア交流競技会事前合宿 日程未定	未定	4 泊	5 日	3 名	12 名

■女子：国内合宿・NTC 及び他で実施

事業名（期間）	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
女子 U19 日本代表合宿 (5 月)	未定	5 泊	6 日	7 名	18 名
女子 U19 日本代表合宿 (6 月)	未定	5 泊	6 日	7 名	18 名
女子 U18 日本代表合宿 (11 月)	NTC	5 泊	6 日	5 名	24 名
女子 U18 日本代表合宿 (2 月)	NTC	5 泊	6 日	5 名	24 名
女子 U19 日本代表合宿 (TBD) ※日中韓ジュニア交流競技会事前合宿 日程未定	未定	未定	未定	3 名	12 名

(注) 男子・女子 U19 日本代表チームとは、2005 年 1 月 1 日以降に出生した選手で構成される日本の代表チーム

5) 男子・女子 U16 日本代表チーム強化合宿

アジアバレーボール連盟より、本年第 1 回 U16 アジア選手権が開催されることが通知され、2024 年に開催予定の第 1 回 U17 世界選手権の予選となることも判明。中学校体育連盟他、関係各所と連携し、安心安全を担保しながら国内合宿を確実に実施し、第 1 回大会参加へ向けて強化を推進する。

■男子： 男子 U16 日本代表は、男子 U16 世界選手権の出場権獲得を目指し、事前強化合宿を実施する。

■女子： 女子 U16 日本代表は 2023 年アジア選手権で優勝を目指し、5 月に選考合宿、6 月に事前強化合宿を実施する。

■男子：国内合宿・NTC 及び他で実施

事業名（期間）	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
男子 U16 日本代表合宿	未定	3 泊	4 日	4 名	18 名
男子 U16 日本代表合宿	未定	2 泊	3 日	3 名	12 名

■女子：国内合宿・NTC 及び他で実施

事業名（期間）	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
女子 U16 日本代表合宿（5 月）	未定	3 泊	4 日	4 名	18 名
女子 U16 日本代表合宿（6 月）	未定	5 泊	6 日	7 名	12 名

（注）男子・女子 U16 日本代表チームとは、2008 年 1 月 1 日以降に出生した選手で構成される日本の代表チーム

【ビーチバレーボール】

1) 男子・女子日本代表チーム強化目標

2023 年度は、パリオリンピック出場権の獲得を最大の目標として、強化体制を再編成し、一層の強化を推進する。

男子は、コンチネンタルカップ（アジア大陸予選）で五輪出場権を獲得するために、成長株である若手有望選手とベテラン選手を融合した代表チームを結成する。海外を中心に遠征や合宿を展開し、海外の強豪チームへの対応力や競争力を鍛錬し、目標達成のための国際競技力の向上と継続的な強化を図る。

女子は、オリンピックランキングでの五輪出場権獲得圏内にあるため、オリンピックランキングとコンチネンタルカップの両軸で最大 2 チームの出場権獲得を目指す

男女ともコンチネンタルカップ第1フェーズ突破をとして、世界選手権、第19回アジア競技大会など重要な大会で目標達成を目指す。

大会名	日程	開催地	目標
<b>■男子</b>			
ビーチプロツアーフューチャー	2023	世界各国	ベスト8
コンチネンタルカップ オリンピックアジア大陸予選 第1フェーズ(東アジア地区)	未定	未定	金メダル獲得
第19回アジア競技大会	9/19-28	中国	ベスト8
AVC アジアツアー	2023	アジア各地	ベスト4
AVC アジア選手権大会	2023	アジア各地	ベスト4
<b>■女子</b>			
ビーチプロツアーエリート16	2023	世界各国	ベスト8
ビーチプロツアーチャレンジ	2023	世界各国	ベスト4
ビーチプロツアーフューチャー	2023	世界各国	金メダル獲得
コンチネンタルカップ オリンピックアジア大陸予選 第1フェーズ(東アジア地区)	未定	未定	金メダル獲得
第19回アジア競技大会	9/19-28	中国	メダル獲得
AVC アジアツアー	2023	アジア各地	金メダル獲得
AVC アジア選手権大会	2023	アジア各地	金メダル獲得
FIVB ビーチバレーボール世界選手権大会	10/6-15	メキシコ	9位タイ

## 2) 男子・女子アンダーカテゴリー強化目標

アンダーカテゴリーの強化指定選手対象に定期的な練習会や合宿を行い継続的な強化を図る。技術スキルの向上に併せて、年間を通じた各種講習会を実施し、国際競技力向上に必要な人間力やトップアスリートに必要な素養を高めアジアにおける常勝国を目指す。

大会名	日程	開催地	目標
<b>■男子</b>			
アジア U21 ビーチバレーボール選手権大会	未定	未定	ベスト4
U21 ビーチバレーボール世界選手権大会	11/8-12	タイ	ベスト16
<b>■女子</b>			
アジア U21 ビーチバレーボール選手権大会	未定	未定	ベスト4
U21 ビーチバレーボール世界選手権大会	11/8-12	タイ	ベスト16

## (2) 競技活動を行う選手の競技・練習環境の整備、セカンドキャリアに関する啓発、情報発信

### 1) 味の素ナショナルトレーニングセンター バレーボール専用コート設備更新

- ① 照明設備 LED 化
- ② 映像システム改修
- ③ 備品のメンテナンス、管理情報更新作業

### 2) ビーチバレーボール競技別強化拠点（川崎マリエン）設備更新

- ① 情報戦略の基盤整理
- ② 地域連携による拠点環境の向上
- ③ 医科学情報トレーニング分野での人的リソース配備
- ④ 設備備品のメンテナンス

## (3) 将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業

### 1) 全国小学生・中学生・高校生長身選手の発掘育成事業

将来有望な長身選手の発掘、育成、強化を目的に、公募および推薦によるオーディションを行い、選抜した有望選手の育成強化合宿を実施する。そして、有望選手のリストを小学生・中学生から高校生までをデータ化し、選手情報を経年的に強化委員会等で共有する。また、年1回各カテゴリー（中学生・高校生）別の有望選手達による選抜チームを編成し、海外で外国人チームとの国際試合を行い、国際的に通用する選手の育成を行う。

※ 海外への渡航ができなくなった場合は、各カテゴリー別で複数の選抜チームを編成しての対戦を行う。加えて、将来のオリンピックを見据えたターゲット選手を選定し、それらの選手の一貫指導を実施していく。

#### ◆小学生エリートアカデミーオーディション合宿

- ・日時：8月12日(土)～14日(月)2泊3日(予定)
- ・場所：味の素ナショナルトレーニングセンター
- ・人数：小学5～6年 男子30名、女子30名 \*スタッフ：15名

#### ◆小学生エリートアカデミー年末合宿

- ・日時：12月27日(水)～12月29日(金)2泊3日(予定)
- ・場所：大阪府内大学施設(予定)
- ・人数：小学5～6年 男子15名、女子15名  
          中学1年 男子15名、女子15名 \*スタッフ：15名

#### ◆全国中学バレーボール選抜強化(一次)合宿

- ・日時：10月12日(木)～15日(日)3泊4日(予定)
- ・場所：岩手県紫波町「オガールアリーナ」「紫波町総合体育館」
- ・人数：中学2～3年 男子30名、女子30名 \*スタッフ：15名

◆全国中学バレーボール選抜強化(二次)合宿

- ・日時：2024年1月11日(木)～14日(日)3泊4日(予定)
- ・場所：味の素ナショナルトレーニングセンター
- ・人数：中学2～3年 男子12名、女子12名 \*スタッフ：8名

◆中学選抜海外遠征

- ・日時：2024年2月19日(月)～27日(水)8泊9日(予定)
- ・場所：味の素ナショナルトレーニングセンター・イタリア(ベネチア)
- ・人数：中学2～3年 男子12名、女子12名 \*スタッフ：8名

◆全国中学長身者合宿

- ・日時：2024年2月8日(木)～11日(日)3泊4日(予定)
- ・場所：味の素ナショナルトレーニングセンター
- ・人数：中学1～2年 男子30名、女子30名 \*スタッフ20名

◆全国高校選抜候補一次合宿(全国9ブロック高校生長身者合宿)

- ・日時：8月18日(金)～9月3日(日)\*各ブロック1泊2日～2泊3日
- ・場所：全国9ブロック施設
- ・人数：各ブロック高校1～2年 男子16名、女子16名  
\*スタッフ：各ブロック15名

◆高校選抜候補第二次合宿・全日本ジュニアオールスタードリームマッチ

- ・日時：2024年2月17日(金)～19日(日)2泊3日(予定)
- ・場所：パナソニックアリーナ
- ・人数：高校1～2年 男子52名、女子52名 \*スタッフ：26名

(4) 競技力向上にかかわるバレーボール技術・戦術の調査研究及びスポーツ医・科学の調査研究事業

- 1) 日本代表選手の科学的測定評価、測定結果に基づくトレーニング処方立案とサポート
  - 男女日本代表選手バイメカ測定【2023年9月～10月予定】
- 2) 日本代表チームとの対戦が想定される外国チームの戦力掌握
- 3) トレーナーおよびアナリストの育成、教育を行って日本代表チームに派遣するとともに、日本代表チームが利用する機材およびデータの管理・運用
  - アナリスト育成セミナー【2023年12月予定】
  - アナリスト育成アカデミー【2024年1月～3月予定】
  - アンダーエイジカテゴリー日本代表選手体力測定【2023年10月～2024年3月予定】
- 4) 日本代表チームにドクターを派遣し、歯科・整形外科診断を中心に選手の健康維持、怪我防止及び傷害発生時の対処、薬剤を手配
  - 男女日本代表選手へのメディカルチェック【2023年4月予定】

- 5) アンチ・ドーピングの啓発を含むスポーツ・インテグリティの向上をはかる  
 6) 感染症専門ドクターからの示唆を仰ぎ、コロナ感染症対策を十分に実施したうえで安心・安全なトレーニング環境を創る

➤ 医師やトレーナーによる帯同報告会【2023年12月予定】

(5) 各カテゴリー日本代表選手団の国際大会派遣事業

【バレーボール】

1) 男子：

<日本代表>

- ・バレーボールネーションズリーグ 2023

Week 1	6/6-11	日本
Week 2	6/20-25	フランス
Week 3	7/4-9	フィリピン
FNL	7/19-23	ポーランド

- ・第22回アジア男子選手権大会 8/18-8/26
- ・第19回アジア競技大会 9/19~9/26 中国
- ・FIVB パリ五輪予選/ワールドカップバレー2023 9/30~10/8 日本

<アンダーエイジカテゴリー（年代別日本代表）>

- ・FISU ワールドユニバーシティゲームズ 7/28~8/8 中国
- ・第18回男子U19世界選手権大会 8/4~13 アルゼンチン
- ・第1回男子U16アジア選手権大会 7/22~29 ウズベキスタン

2) 女子：

<日本代表>

- ・バレーボールネーションズリーグ 2023

Week 1	5/30-6/4	日本
Week 2	6/13-18	ブラジル
Week 3	7/4-9	タイ
FNL	7/12-16	アメリカ

- ・第22回女子アジア選手権大会 9/2~10 タイ
- ・FIVB パリ五輪予選/ワールドカップバレー2023 9/16~24 日本
- ・第19回アジア競技大会 9/29~10/7 中国

<アンダーエイジカテゴリー（年代別日本代表）>

・FISU ワールドユニバーシティゲームズ	7/28～8/8	中国
・第18回女子U19世界選手権大会	8/1～11	カザフスタン/ハンガリー
・第22回女子U21世界選手権大会	8/17～26	メキシコ
・第1回女子U16アジア選手権大会	7/1～8	中国

【ビーチバレーボール】

1) ビーチバレーボール男女日本代表チーム

・FIVB ビーチバレーボール世界選手権大会	10/6-15	メキシコ
・バレーボールワールドビーチプロツアー	2023	世界各地
・第19回アジア競技大会（2022/杭州）	9/19-28	中国
・AVC アジアツアー	未定	アジア各地
・AVC アジア選手権大会	未定	未定

2) ビーチバレーボール年代別男女日本代表チーム

・アジア U21 ビーチバレーボール選手権大会	未定	未定
・U21 ビーチバレーボール世界選手権大会	11/8-12	タイ

2. 国際大会開催事業及び国際貢献・交流事業

(1) 国際大会開催事業

1) 2023 男子バレーボール国際親善試合 日本 対 中国（富山大会）

- ・会場： 富山県西部体育センター（富山県砺波市）
- ・日程： 5月19日（金）、20日（土）

2) バレーボールネーションズリーグ 2023 男女名古屋大会

- ・会場： 日本ガイシホール（愛知県名古屋市）
- ・日程： 女子大会 5月30日（火）～6月4日（日）  
男子大会 6月6日（火）～6月11日（日）
- ・参加チーム： 女子大会 ブラジル、ドミニカ共和国、ドイツ、中国、オランダ、ブルガリア、クロアチア、日本  
男子大会 フランス、ポーランド、イラン、ブルガリア、中国、スロベニア、セルビア、日本

3) 2023 バレーボール女子日本代表紅白試合 ミズノマッチ（沖縄大会）

- ・会場： 豊見城市民体育館（沖縄県豊見城市）
- ・日程： 8月5日（土）、8月6日（日）

#### 4) FIVB パリ五輪予選／ワールドカップバレー2023

- ・会場： 国立代々木競技場 第一体育館
- ・日程： 女子大会 9月16日（土）～9月24日（日）  
男子大会 9月30日（土）～10月8日（日）
- ・参加チーム：未定

※ 上記の開催内容については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により変更が生じる可能性あり

### （2） 国際貢献・交流事業

- 1) FIVB 及び AVC 役員等派遣事業
- 2) ボール寄贈事業
- 3) 国際移籍 (International Transfer Certificate)

### 3. 講習会開催事業、指導者、審判員等養成及び資格認定・登録事業

#### （1） 指導者養成・育成事業

日本バレーボール協会が養成する「指導者」は、スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンタードの考え方のもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる指導者の養成を目標とする。

- 指導者資格の「種類」と「活動内容」を整理した上で、バレーボール・ビーチバレーボール・ソフトバレーボールの新たな資格制度の計画を策定する。
- JSP0 公認スポーツ指導者（競技別指導者）の養成・育成事業を「専門科目認定講習会（準指導員含む）」「資格更新研修会」「指導スキルアップ研修会」に区分し、事業の整理を実施する。
- JVA 登録制度の見直しと連動して、アンダーエイジカテゴリー（育成年代）の資格取得（監督・コーチ）と登録義務の計画を策定する。
- 日本スポーツ協会（JSP0）が提唱するプレーヤーズセンタードに賛同し、指導者の意識改革を促す。

#### 1) JSP0 公認スポーツ指導者養成事業

- JSP0 公認スポーツ指導者（競技別指導者資格）専門科目認定講習会
- スタートコーチ : 都道府県 JSP0 と都道府県協会が実施
- コーチ 1 : 都道府県 JSP0 と都道府県協会が実施

- コーチ 2 : 都道府県 JSP0 と都道府県協会が実施
- コーチ 3 : JVA 指導普及委員会が実施
- コーチ 4 : JVA 指導普及委員会が実施

## 2) JVA 公認指導者の養成事業

- 準指導員 (コーチ 1) : 全国学生対象コーチ 1 養成講習会
- 準指導員 (コーチ 1) : クラブ連盟対象コーチ 1 養成講習会
- 準指導員 (コーチ 1) : 全国小学生指導者第一次講習会・第二次講習会  
(第一次+第二次講習会終了で準指導員)
- ソフトバレーボール・アクティブリーダー養成講習会
- ソフトバレーボール・マスターリーダー養成講習会
- ソフトバレーボール・マスターリーダー更新研修会

## 3) JSP0 公認スポーツ指導者・JVA 公認指導者の養成講習会を開催するための講師育成

- JVA 公認講師認定講習会

## 4) 指導者育成事業

### ■JVA 独自指導者研修会 (指導スキルアップ研修・資格更新研修)

- 都道府県別指導者研修会
- 公認指導者研修会 (公認講師、コーチ 3、コーチ 4 対象)
- 全国中学生バレーボール指導者研修会
- 日本実業団バレーボール連盟全国指導者研修会
- クラブ連盟対象指導者研修会
- ソフトバレーボール・アクティブリーダー研修会
- ビーチバレーボール指導者研修会

## (2) 審判員養成・育成事業

国際大会における国際審判員の派遣および国内競技会の審判員派遣とともに、円滑な競技会運営のために、6人制・9人制・ビーチバレーボールの審判技術向上と審判員の養成・育成を目的に、主な事業を下記により開催する。

■審判員養成・育成事業		
①国際ショナルレフェリー技術強化事業		
②海外遠征派遣事業	未定	高校選抜遠征に帯同
③ナショナルレフェリー技術強化事業		

～6人制～		
④関東・東海・関西大学男子1部リーグ	4月～5月 9月～10月	(春季) (秋季)
～9人制～		
⑤N2レフェリー技術強化事業	5～8月	各ブロックへの講師派遣
⑥9人制A級審判員技術強化事業	11月16日～ 11月19日	全日本総合男女選手権大会 (大阪)
⑦9人制レフェリー育成事業	10月13日～ 10月16日 10月28日～ 10月31日	社会人 東(茨城) 西(未定) 対象：B・C級審判員
～ビーチバレーボール～		
⑧B2レフェリー技術強化事業	5～8月	各ブロックへの講師派遣
⑨ビーチバレーボールA級審判員技術強化事業	未定 (7月中旬)	ビーチバレー ジャパン・カレッジ2023
⑩ビーチバレーボールレフェリー育成事業	未定 (7月中旬)	全日本ビーチバレーボール U-23男女選抜優勝大会

### (3) 審判員資格認定事業

競技会における審判員の資格審査認定講習会を開催し、登録部が審判員の登録を管理する。

- A級審判員      ○A級候補審判員      ○B級審判員  
○C級審判員      ○ビーチバレーボール審判員

## 4. 全国大会等国内競技会開催事業

### 【バレーボール】

#### (1) 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会

日本の6人制バレーボール最高のチームになる栄誉を競い、本協会の根幹となる天皇杯・皇后杯の名を冠するに相応しい、国内最高峰に位置づけられている大会である。本年は以下の日程で開催する。

##### 1) 都道府県ラウンド(県代表1チームを選出)

- ・開催期間： 4～7月
- ・開催都市： 各都道府県内体育館

##### 2) ブロックラウンド(ブロック代表16チームを選出)

- ・開催期間： 9～10月
- ・開催都市： 各ブロック内体育館

3) ファイナルラウンド：男子 24 チーム、女子 24 チーム  
(ブロック代表 16 チームに V.LEAGUE の D1 チームを加える)

- ・開催期間： 12 月 8～10 日 (1 回戦～準々決勝)  
12 月 16・17 日 (準決勝・決勝)
- ・開催都市： 東京都調布市 (武蔵野の森総合スポーツプラザ)  
渋谷区 (東京体育館)

## (2) 全日本小学生大会 (男女・混合大会)

教育的配慮のもとにバレーボールを通じて全国児童の親睦と交流を図ること、バレーボールによる小学生の体力向上とたくましさの醸成に努めること、小学生から正しいバレーボールの基本技術とチームプレーを体得し、楽しいゲームが出来るように指導することを目的に、以下の日程で開催する。

### 1) 都道府県大会

- ・開催期間： 4 月～7 月
- ・開催都市： 各都道府県内体育館

### 2) 全国大会

- ・開催期間： 8 月 7 日～10 日
- ・開催都市： 東京都渋谷区、大田区、町田市、神奈川県相模原市、千葉県浦安市

## (3) JOC カップ全国都道府県対抗中学大会

将来のオリンピック選手の発掘と中学生バレーボールのレベルアップを図り、各チームとの交流を通して友情を深め、フェアプレー精神の高揚を目指し、中学生指導者の研修の場とすることを目的に、以下の日程で開催する。

- ・開催期間： 12 月 25～28 日
- ・開催都市： 大阪府大阪市

## (4) 全日本高等学校選手権大会

都道府県予選を勝ち抜いた高校から日本一を決める大会として以下の日程で開催する。

- ・開催期間： 2024 年 1 月 4～8 日
- ・開催都市： 東京都渋谷区 (東京体育館)

## (5) 秩父宮賜杯・秩父宮妃賜杯全日本大学選手権大会

大学在校生で構成され全日本学連に有効に登録された大学で、地区学連より選抜されたチームが参加できる大会として、以下の日程で大学日本一を決める大会を開催する。

1) 秩父宮賜杯全日本大学選手権大会（男子）

- ・開催期間： 11月27日～12月3日
- ・開催都市： 東京都

2) 秩父宮妃賜杯全日本大学選手権大会（女子）

- ・開催期間： 11月27日～12月3日
- ・開催都市： 東京都

（6）上記の各競技会に加え、JVA主催、開催地都道府県協会等の主管により、以下の各種別全国大会を開催する。

大会名等	開催期間	開催都市	
第9回全日本9人制バレーボールトップリーグ 女子レギュラーラウンド	6/2	未定	未定
女子セミファイナルラウンド	7/15	未定	未定
女子ファイナルラウンド	8/5	未定	未定
男子オープニングラウンド	10/7	三重県	伊勢市
男子ファイナルラウンド	12/15	石川県	石川市
第75回全日本9人制実業団女子選手権大会	7/28～30	愛知県	一宮市
第76回全日本9人制実業団男子選手権大会	7/28～31		
第42回全日本9人制クラブカップ女子選手権大会	8/11～14	福岡県	福岡市
第42回全日本9人制クラブカップ男子選手権大会	8/4～7	富山県	富山市
第22回全国社会人東ブロック男女優勝大会	10/12～15	茨城県	日立市
第22回全国社会人西ブロック男女優勝大会	10/27～30	高知県	高知市いの町
第92回全日本9人制総合女子選手権大会	11/16～19	広島県	広島市
第93回全日本9人制総合男子選手権大会		大阪府	大阪市
第14回全国6人制バレーボールリーグ 総合男女優勝大会（地域リーグ） （東西決勝リーグ） （グランドチャンピオンマッチ）	4～12月 2024年1～3月 2024年3月	全国 未定 未定	各地 未定 未定
第71回黒鷲旗全日本男女選抜優勝大会	5/1～6	大阪府	大阪市
第42回全日本6人制クラブカップ女子選手権大会	8/11～14	和歌山県	和歌山市
第42回全日本6人制クラブカップ男子選手権大会	8/11～13	大阪府	大阪市
第26回全国ヤングクラブ優勝大会	9/30、10/1	大阪府	門真市ほか
第12回全国ソフトバレースポレクフェスティバル	9/15～17	大分県	大分市
第25回全国ソフトバレーレディースフェスティバル	10/13～15	愛知県	江南市
第31回全国ソフトバレーシルバーフェスティバル	10/6～8	青森県	弘前市
第8回全国ソフトバレー・フリーフェスティバル	11/11、12	熊本県	八代市
第14回全国ヴィンテージ8's交流大会	10/6～8	北海道	函館市

(7) 公益財団法人日本スポーツ協会 (JSP0) との共催により、以下の大会を開催する。

1) 特別国民体育大会バレーボール競技 (6人制)

- ・日程： 10/8～11
- ・開催都市： 鹿児島県鹿児島市、鹿屋市、いちき串木野市

2) 第23回日本スポーツマスターズ2023

- ・日程： 9/16～19
- ・開催都市： 福井県福井市、越前市、鯖江市

(8) 公益財団法人全国高等学校体育連盟との共催により、以下の大会を開催する。

1) 全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技

- ・日程： 8/1～5
- ・開催都市： 北海道釧路市、釧路町

2) 全国高等学校総合体育大会男子バレーボール競技

- ・日程： 8/7～11
- ・開催都市： 北海道旭川市

3) 全国高等学校定時制・通信制大会

- ・日程： 8/1～5
- ・開催都市： 神奈川県平塚市

(9) 公益財団法人日本中学校体育連盟との共催により以下の大会を開催する。

1) 第53回全日本中学校バレーボール選手権大会

- ・日程： 8/20～23
- ・開催都市： 愛媛県松山市、伊予市

## 【ビーチバレーボール】

(1) ジャパンビーチバレーボールツアー2023

2023年度は各分野の専門委員を含めたツアー実行委員会を設置し、新規の開催地も加えて以下の通り大会を計画する。

ツアー各大会を活用し、環境問題や社会貢献活動の取り組みにも力を入れる。

第1戦	渋谷大会	4/28～30	東京都渋谷区
第2戦	平塚大会 (兼アジア大会予選)	5月中旬	神奈川県平塚市
第3戦	横浜大会	6/15～17	神奈川県横浜市
第4戦	立川立飛大会 (日程調整中)	7/28～30	東京都立川市

第5戦	青森大会(調整中)	8/25～27	青森県青森市
第6戦	都城大会	9/22～24	宮崎県都城市
第7戦	名古屋大会	9/29～10/1	愛知県名古屋市
第8戦	グランフロント大阪大会 (日程調整中)	10/13～15	大阪府大阪市
第9戦	松山大会(日程調整中)	10月中旬	愛媛県松山市
第10戦	須磨大会	11/3～5	兵庫県神戸市

※ 開催調整中大会：大洗大会(茨城県大洗町)、札幌大会(北海道札幌市)、沖縄大会(沖縄県豊見城市)

※ 上記日程は、2022年1月12日現在の予定

## (2) 第78回国民体育大会ビーチバレーボール競技(正式競技)

- ・日程： 9月16日～19日
- ・開催都市： 鹿児島県曾於郡大崎町

## (3) 日本選手権

大会名等	開催期間	開催都市
ビーチバレーボール・ジャパン・カレッジ2023 第35回全日本ビーチバレー大学男女選手権大会	8/8～10	神奈川県川崎市
第22回全日本ビーチバレーボールジュニア男子選手権大会	8/4～6	大阪府阪南市
'23マドンナカップ in 伊予市 ビーチバレーボールジャパン女子ジュニア選手権大会	8/11～13	愛媛県伊予市
第37回ビーチバレージャパン	8/11～13	神奈川県藤沢市
第34回全日本ビーチバレーボール女子選手権大会	8/18～20	大阪府泉南郡岬町
第14回全国中学生ビーチバレーボール大会	8/17～18	神奈川県藤沢市

## (4) その他主要大会

大会名等	開催期間	開催都市
ビーチバレーボールNEXT2023 第5回全日本ビーチバレーボールU-23男女選抜優勝大会	7/21～23	兵庫県明石市
2023ビーチバレーボール・ルナカップ in 御宿 第6回大会(予定)	8/19～20	千葉県夷隅郡御宿町
第15回ビーチバレーボール川崎市長杯(予定)	10/7～8	神奈川県川崎市

## 5. マーケティング事業

JVAの事業を安定的に運営すべく、バレーボールの社会的な価値およびJVAが所有する各種プロパティの価値を向上するための適切なプロモーション活動を行いJVAの競技団体としてのミッション・ビジョン・行動規範やブランディングを再定義して公表すること

により社会的な信頼感の回復を目指しながら、JVA の目指す方向や各事業にご賛同いただいている協賛社の皆様とのパートナーシップ強化および新規協賛社の獲得に向けて積極的に活動を行う。

## 6. 用具、用品等の公認事業及びその他の公認物品販売事業

### (1) バレーボール用品・用具の公認・推薦事業

### (2) ルールブック販売事業

## 7. V. LEAGUE 開催及び開催支援事業

V リーグ機構が主催、JVA が共催する「V. LEAGUE (大会)」においても、JVA はバレーボールの普及・振興に寄与する目的で、大会にジュリーと審判員の派遣を行い、V. LEAGUE の試合運営並びに開催支援を行う。また、V. LEAGUE と相互の連携を積極的に行い、バレーボールコンテンツにおける大会等のマーケティングやプロモーションを、それぞれの大会を通して共同で参画できるように努める。

## 8. 収益事業

### (1) ファン向けサイトの運営事業

バレーボール日本代表オフィシャルファンサイト「バレともタウン」の充実を図り、JVA 直轄運営ならではの選手情報や大会チケットの優先販売情報など SNS も交えながら発信、コアファンだけではなく幅広いファン層にバレーボールの魅力を浸透させながら有料会員の増加を目指す。

### (2) 肖像使用許諾事業

### (3) バレーボール関連グッズの販売事業

## 9. その他

### (1) 加盟団体との連携強化

加盟団体と、国際大会や国内大会を含む JVA の各種事業において、相互のコミュニケーションを強化および運営サポートを行い、相互の協力体制を確立し協働で運営にあたる。

### (2) JVA メンバー制度登録管理システム (Membership Registration System)

登録意義の本質を見直し、JVA 中期計画にあわせた、バレーボールに関係する方々に伴走していただけるシステムを再構築するための準備を開始する。

### (3) 競技者拡大活動

近年の競技人口の減少は憂慮すべき事態であり、すべてのカテゴリーにおいて減少している。競技人口を増やすことは喫緊の課題であるため、競技者拡大に向けた事業の検証・

整理を行い、現行の事業のリニューアルも含めた計画（中期・長期含む）を策定する。また、競技者の更なる拡大・競技の継続に向け、“学校教育現場（小学校）におけるバレーボールプログラム”などの事業を継続して実施し、競技者拡大を図ることを念頭に、今年度は以下の事業を実施する。

#### 1) Vリーグ選手と一緒にバレーボール教室

小学生のバレーボール未経験者及び初心者を対象に、Vリーグ選手（含OB・OG）が参加してバレーボール教室を全国3会場で開催。

- ・日時：6月～9月までの各会場1日
- ・場所：各開催立候補地区体育館
- ・人数：各会場バレーボール経験者（約50名）、未経験者（約20名）

#### 2) 中学校ビギナー選手バレーボール大会推進

中学1年生からバレーボールを始めた選手への競技継続のモチベーションの促進とともに、競技の魅力及び競技力の向上を目的とするためのバレーボール教室及び大会(全国9ブロック)を開催。

- ・日時：10月～2月までの各会場1日
- ・場所：全国9ブロック開催立候補地区体育館
- ・人数：中学1～2年（50～80名）

#### 3) 全国小中一貫バレーボール教室

小・中学生合同のバレーボール教室を実施する。一貫指導の充実とバレーボール人口の増加を図ることを目的として、全国2会場（6月～9月）で開催。

- ・日時：6月～9月までの各会場1日
- ・場所：各開催立候補地区体育館
- ・人数：小学5～6年（30～50名）、中学1～2年（20～30名）

#### 4) 幼稚園・保育園等でのソフトバレーボール（風船等）実践

ソフトバレーボールを通して、幼児期にバレーボールの楽しさを伝えるとともに、ボールを使ったコーディネーショントレーニングを実践し、幼少期の運動能力・発育を促す事業として、全国9ブロックで年1回(6月～2月)展開。

- ・日時：6月～2月までの各会場1日
- ・場所：全国9ブロック開催立候補地区体育館
- ・人数：幼稚園・保育園児（30名～40名）

#### 5) アンダー10大会促進

小学4年生以下を対象としたチーム内でレギュラー以外の選手の競技継続を目的とした大会を開催し、ボール接触機会と競技の楽しさを味わってもらうとともに、次カテゴリーでのバレーボール継続を促進。全国20都道府県で年1回(6月～2月)開催。

- ・日時：6月～2月までの各会場1日
- ・場所：全国20都道府県開催立候補地区体育館
- ・人数：小学1～4年生(50名～80名)(開催地によって変動)

#### **(4) 競技の高潔性を保ちアンチ・ドーピングを遵守する。**

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)との更なる連携を図り、ドーピング検査の実施や教育・啓発活動を推進する。特に、日本代表選手(シニア・ユニバ・ジュニア・ユースを含む)やトップリーグの選手・チームスタッフに対して講習会を実施し、バレーボール界における更なるドーピング知識の浸透を図る。

以上